

*The  
20<sup>th</sup>  
Concert*

東京アマデウス合唱団  
第20回定期演奏会

*Tokyo Amadeus Chorus*

200111/4(日)  
石橋メモリアルホール

---

## ご挨拶

今宵は、お忙しい中をご来場いただき、団員一同厚くお礼申し上げます。

東京アマデウス合唱団は1980年創立以来、モーツァルトのほか古典派の作品を中心にほぼ毎年1回の定期演奏会を行い、本年度21年目を迎えました。

さて、1昨年まで毎年秋に開催しておりました定期演奏会は、昨年1月の齋藤明生先生急逝に伴い延期しておりましたが、新指揮者「水野克彦先生」をお迎えして初めてのオケ付きのコンサートを、21世紀初めての秋に第20回記念として開催する事となりました。

ここ暫くはモーツァルト以外の曲を演奏して参りましたので、20回を記念して、今回は東京アマデウスという名前にちなんだ本来の形に戻り、モーツァルトの曲をメインとし、これに2人のハイドンの曲を加えたプログラムを組んでみました。

毎回続けてご来場を頂いております方々や、ご来場の皆様方からの暖かいご支援に支えられ、少人数ながらこの演奏会を開催することができますことを、団員一同心から感謝いたしております。

団員の一人一人が精一杯力を出し切って今回のコンサートを成功させたいと思っておりますので、暖かいご声援と共に演奏をゆっくりお楽しみ戴ければ幸いです。

2001年11月4日

東京アマデウス合唱団  
団長 柿沼 哲

---

# Program

## 第1ステージ

1. **Zwei Motetten**  
(二つのモテット) (Joseph Haydn)  
【1732-1809】  
Coeli enarrant (もろもろの天は神の栄光を語り)  
Deus meus (我が神よ)
2. **Missa Sanctae Crucis**  
(聖十字架ミサ) (Johann Michael Haydn)  
【1737-1806】

----- 休 憩 -----

## 第2ステージ

1. **Inter natos mulierum (KV72)**  
(女より生まれ出でし者のうち)  
(Wolfgang Amadeus Mozart)  
【1756-1791】
2. **Ave Maria**  
(アヴェ・マリア)  
Graduale in Missa Rorate  
(ローラテ様式のミサのグラドゥアーレ)  
(Johann Michael Haydn)  
【1737-1806】
3. **Missa in C (KV167)**  
(ハ長調ミサ)  
Trinitatis-Messe (三位一体のミサ)  
(Wolfgang Amadeus Mozart)  
【1756-1791】

### Joseph Haydnの二つのモテット

Otto Bibaによって校訂編集された「ウィーン古典主義の教会音楽」第7集に収められている。1796年(Mozart歿五年後)かそれ以後に作曲した作品九曲(七曲は世俗曲)を集めて1803年Haydnは《Drei- und vier-stimmige Gesänge》を出版した。歌詞は全てドイツ語で、第8曲は〈Aus dem Danklied zu Gott神へ献げる感謝の歌から〉Hob XXVc:8、第9曲は〈Abendlied zu Gott神へ献げる夕べの歌〉Hob XXVc:9と題され、四重唱の作品(ハーブシコード伴奏付)に成っている。一方、当時のウィーン宮廷楽団文書の中にこの二曲をラテン語歌詞のア・カペラ四声モテットに変えた手書きの総譜が存在し、編纂者はHaydnかどうか判っていないが、その編曲は非凡な手腕を感じさせる。但し、歌詞に合わせるために原曲のリズムや韻律を変えてある。〈Coeli enarrant〉は第8曲中の〈Du bist's dem Ruhm und Ehre gebühret〉、〈Deus meus〉は第9曲中の〈Herr, der du mir das Leben〉の歌詞に対応する。

### Michael Haydnの《Missa Sanctae Crucis》MH56

Joseph Haydnの五歳年下の弟 Michael Haydnが、ハンガリーのGroßwardein(現ルーマニア領Oradea)で、1757年から五年間司教伯のもとで楽長を務めた時代の在任最後の週に当たる1762年3月29日に完成した作品で、その年の受難週に初演された。ウィーンのイエズス会のセミナリオに居た頃に学んだ古典対位法の権威として知られるJohann Joseph Fuxを手本に、対位法を駆使した古典様式stile anticoにまとめられている。今回はア・カペラで演奏されるが、作曲者は当時の南ドイツの教会音楽の通例にしたがってCredoの〈Crucifixus〉以下を除くほかの部分、オルガンやヴァイオリン、トロンボーンなどの器楽がパートの伴奏を付けることを許していたようである。「十字架」に関する〈Crucifixus〉以下〈sepultus est.〉までの部分が極めて象徴的で、緊張感のあるピアノで歌い進められ、歌詞のアクセントの置かれる所だけがフォルテで表現される。

### Wolfgang Amadeus Mozartの《Inter natos mulierum》KV.72(74f)

Joseph Haydnよりも二十四歳、Michael Haydnよりも十九歳若いA.Mozartが15歳の時1771年に、第1回イタリア旅行から戻ってザルツブルグでその年6月24日の洗礼者聖ヨハネ生誕の祝日に合わせてこのミサの奉獻の儀に歌われるオッフエルトリウムを作曲したと考えるのが定説である。しかし、自筆譜(現存せず)完成の直後に成ったと

---

考えられる筆写譜(現存)に使われている紙の鑑定からC. Eisenは1770年代末の成立を主張する(The Mozart Compedium)1991)。歌詞の前半はその祝日に歌われるアンティフォーナのものをそのまま歌い、後半<Ecce agnus Dei,>以下はミサ式文の一節を利用しながら巧みにオペラ風の対話を構成している。ヨハネの卓越の主張は動的に描きながら、それを打ち消す意味で前半の歌詞の<non>を強調させ、神の小羊キリストの優越の表現は柔和でかつひかえ目に、しかも厳然と執拗に歌い進められ、低音の響きでその存在の大きさと深さを印象づける。ヨハネの偉大さを称えながら、それより遥かに大きな贖罪のキリストの存在を称える構成の運びは、末尾の<Alleluja>で後者への讃美を決定的なものにしている。

### Michael Haydnの(Ave, Maria) MH382又は385

1784年11月26日待降節の土曜日に歌われる祝福された処女マリアの祝日のミサのグラドゥアーレ(祭壇昇階のときに歌われる)のために完成した作品。歌詞はローマ典礼聖歌の聖マリアのためのアレルヤ唱のものを、<Alleluia>を末尾に置き換えて使用している。1781年3月解雇を願い出て退職し、ウィーンに去ったW. A. Mozartの後任として、M. Haydnがザルツブルグの宮廷オルガニストのポストを得てから間も無い時期の、Hieronymus Colloredo大司教のもとでの彼の作曲活動の重要曲種の一つであったグラドゥアーレの一例である。

### Wolfgang Amadeus Mozartの(Missa in honorem Sanctissimae Trinitatis) KV. 167

1773年6月(Mozart17歳)聖霊降臨(ペンテコステ)の主日の次の主日として祝われる「きわめて聖なる三位一体の主日」(6月5日)のために作曲した。ソロを含まず合唱だけで演奏される様式と言い、GloriaとCredoの末尾にフーガを導入する点と言い、音楽の主導性を常に器楽が担っているのびのびした構成と言い、H. Colloredo大司教の制約を厳しく受けていたザルツブルグのMozartにしては異例な作品である。初演の場所が大聖堂ではないとする説が多いが、制約内での彼の精一杯の意欲を示した試みであったとも考えられる。なぜなら、この器楽が通常なら挿入されるはずの教会ソナタの替わりを成して、時間の制約(教会ソナタ、書簡朗読を含めてミサの時間を45分にしなければならない)を越えないように配慮していると思われるからである。唯一の神の三つの位格父と子と聖霊に言及される部分など主要なテキストを間奏を挟んで際立たせたり、四分の三拍子にしたり、フーガで強調する工夫が加えられている。グレゴリオ聖歌はこの主日に歌われるべき旋律を考慮して特に付けた。

(文責 野口 碩)

---

## 東京アマデウス合唱団のご案内

(平成13年11月現在)

---

今回ご来場の皆様方の中には、すでにご存知の方々も多いかと思いますが、東京アマデウス合唱団を初めてお聴きになる方々のために、若干のご案内をさせて頂きたいと思っております。

東京アマデウス合唱団は、1980年に「モーツァルトのレクイエム」を自分達の手で演奏したいという夢を持つ、アマチュアの仲間達が集まって創立しました。

以来、モーツァルトのほか古典派の作品を中心とした宗教曲を、ほぼ毎年1回の定期演奏会で演奏してまいりました。

今年で21周年を迎えましたが、その間に演奏した曲の主なものを裏表紙に掲載しましたのでご一覧下さい。

この合唱団は、指導者の招聘・指揮者の選定・会場設定・演奏会の曲目選定・プログラム印刷・演奏する曲目の解説から訳詞に至るまで全てが団員の労力と団員だけの資金で成り立っており、手作りの演奏会を開催するユニークな合唱団としての存在価値を、団員一同が誇りとしております。

創立当初は68名いた団員も現在は20名程度になりましたが、なんとか存続させたいという団員の強い意志に支えられて、現在に至っております。

今後の活動予定は次ページの通りですが、一緒に唄ってみたい方や興味のある方がおられましたら、是非とも練習会場にお出かけ頂いて練習状況をご覧戴きたい(見学大歓迎)と願っております。

次ページご参照の上ご来場戴きたく、団員一同心からお待ちしております。

---

[ホームページ]

<http://fps01.plala.or.jp/~AMADEUS/>

---

## PROFILE

---

### 指揮 水野克彦

東京芸術大学卒業。ピアノを滝崎鎮代子、クラリネットを千葉国夫、室内楽を細野孝興の各氏に師事。オルガンの手ほどきを今井奈緒子氏に受ける。

幼少よりピアノの手ほどきを受け、合唱の伴奏経験を通して、次第に合唱曲や宗教曲の分野への興味が芽生える。芸大在学中はクラリネットを専攻し、芸大九十周年記念演奏会の室内楽奏者に選ばれる。

卒業後はオーケストラ、室内合奏などの演奏の他、ソロリサイタルも度々行う。しかし、その間も合唱曲や宗教曲への興味は衰えず、芸大バッハ・カンタータ・クラブに在籍し、小林道夫氏の薫陶の下に主にバッハの宗教曲作品を研究すると共に、オルガン演奏の研鑽も積む。

次第に宗教曲や古い鍵盤音楽の演奏が多くなり、現在は指揮、オルガン、通奏低音による宗教曲作品演奏の他、声楽家や器楽演奏者とのアンサンブル、作曲と幅広く活動。オルガンリサイタルの他、東京大学教養学部オルガン演奏会、ドイツ文学会オルガン演奏会などに出演。

現在、茗荷谷キリスト教会聖歌隊指揮者・オルガニスト、日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員の他、渋谷混声合唱団、女声合唱団アンサンブル・フローラ、東京アマデウス合唱団、東京三菱銀行合唱団の指揮者。

---

### オーケストラ

Violini I	海保あけみ	Clarini I	海保 泉	Timpani	伊沼 弘能
Violini II	片桐 恵里	Clarini II	佐藤 宗男	Violoncello	牧野ルル子
Oboi I	姫野 徹	Trombe basso I	菊池 公佑	Contrabasso	柳澤 智之
Oboi II	玉田由佳里	Trombe basso II	田中 宏史	Organo	辰巳美納子

---

### 東京アマデウス合唱団

ソプラノ	大久保ルミ子・辻村順子・村松あおい・山形明子
アルト	相澤美佐・伊藤正子・加藤尚子・重泉秀子・鈴木寿見・宮崎米子
テノール	小沢 仁・片岡 繁・吉田英人
バス	柿沼 哲・榎崎誠広・野口 碩

---

## 今後の活動予定

2002年秋

第21回定期演奏会 会場 石橋メモリアルホールを予定  
主な演奏曲目 ラインベルガー：スタバトマーテル他を予定

2003年秋

第22回定期演奏会 会場 石橋メモリアルホールを予定  
主な演奏曲目 未定

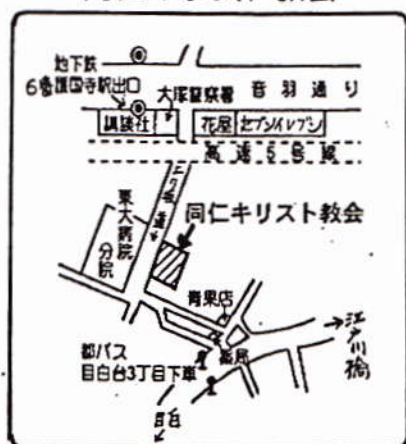
### (参加・見学ご希望の方へ)

お問い合わせ先 辻村順子 048-476-4056  
大久保ルミ子 03-3956-6154

- 毎週水曜日 午後6時30分～9時
- 練習会場 同仁キリスト教会美登里幼稚園2F
- 指導者 水野克彦先生
- 会費 月額 4,000円(学生2,000円)

### 練習場所案内図

同仁キリスト教会



住所

文京区目白台3-10-9

- 地下鉄有楽町線  
「護国寺」駅下車・6番出口から徒歩5分
- 又は  
○JR山手線「目白」駅下車・駅前から  
都バス「櫛山荘」行き・又は「新宿西口」行きに乗車  
「目白台三丁目」下車・徒歩5分





1981 February Mozart :RÉQUIEM  
1981 November Händel :MESSIAH  
1982 November Fauré :RÉQUIEM  
1983 September Mozart :KRÖNUNGS MESSE  
1984 September Mozart :RÉQUIEM  
1985 October Bach :KANTATE Nr.106  
1986 October Mozart :GROSSE MESSE  
1987 October Schütz :MUSIKALISCHE EXEQUIEN  
1988 December Mozart :VESPERAE  
1989 November Mozart :RÉQUIEM  
1991 February Mozart :LITANIAE  
1991 November Mozart :DOMINICUS MESSE  
1992 Nov. Charpentier :MESSE DE MINUIT POUR NÔEL  
1993 November Mozart :MISSA BREVIS  
1994 November Mozart :RÉQUIEM (JOINT CONCERT)  
1995 October Bach :KANTATE Nr.182  
1996 November Mozart :VESPERAE  
1997 October Mozart :MISSA SOLEMNIS  
1998 October Bach :KANTATE Nr.61  
1999 Oct. Rheinberger :STABAT MATER  
2001 November Mozart :TRINITATIS MESSE

## 合唱団員募集

東京アマデウス合唱団では次回演奏会に向け、団員を募集しています。  
音楽を愛する方なら経験は不問です。練習は毎週水曜日18:30~21:00、  
地下鉄有楽町線護国寺駅下車、東大分院前の「同仁教会幼稚園」で行っ  
ています。

入団費は1,000円、団費は月4,000円です。学生割引有り（他に楽譜代  
など）合唱に興味をお持ちの方、是非お越しください。見学も歓迎です。

お問い合わせ:03(3956)6154・大久保、048(476)4056・辻村

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX  
歌 詞 対 訳  
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

Original text in German  
to be transcribed

文 責 野 口 碩

Original text in German  
to be transcribed

第1ステージ

Franz Joseph Haydn(1732.3.31-1809.5.31)

Zwei Motetten(二つのモテット)

KIRCHENMUSIK DER WIENER KLASSIK「ウィーン古典主義の教会音楽」第7冊より

1. Coeli enarrant Hob. XXVc:8  
Coeli enarrant gloriam Dei  
et opera manuum ejus a(n)nuntiat firmamentum.

変ホ長調  
もろもろの天は神の栄光を物語り、  
天の支柱(天)はその神の御手を  
御業によって知らせています。  
主よ、あなたに望みを託していますから、恥に  
落とされて赤面することがありませんように。

Domine, in te speravi et non erubescam.

(以下歌詞繰り返し)

新共同訳聖書詩編19.2「天は神の栄光を物語り/大空は御手の業を示す。」 同71.1-4「主よ、御もとに身を寄せます。とこしえに恥に落とすことなく……あなたに逆らう者の手から/悪事を働く者、不法を働く者の手から/わたしを連れさせてください。」

2. Deus meus Hob. XXVc:9 ホ長調

Deus meus, refugium meum, ad te clamavi.

私の神様! 私の避け所であられるお方、あなた  
に向かって叫んでいます。……  
でも(主よ)、私を憐んでお救いください。

Tu autem (Domine) miserere mei et salva me.

(以下歌詞繰り返し)

新共同訳聖書マルコ10.46-48「イエスが弟子たちや大勢の群衆と一緒に、エリコを出て行くこととされたとき、ティマイの子で、バルティマイという盲人の物乞いが道端に座っていた。ナザレのイエスだと聞くと、叫んで、「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」と言い始めた。多くの人々が叱りつけて黙らせようとしたが、彼はますます、「ダビデの子よ、わたしを憐れんでください」と叫び続けた。」

Johann Michael Haydn(1737.9.14-1806.8.10)

Missa Sanctae Crucis(聖十字架のミサ) MH56 フリギア旋法

1762年3月29日完成

1. Kyrie

(Kyrie I)  
Kyrie eleison. (繰り返し)

主よ、憐んでください。

(Christe)  
Christe eleison.

キリスト様、憐んでください。

(Kyrie II)  
Kyrie eleison.

主よ、憐んでください。

2. Gloria

[Gloria in excelsis Deo.] (グレゴリオ聖歌)  
Et in terra pax hominibus bonae voluntatis.

高いところ(天)では神様に栄光がありますように。  
そして地上(この世)では善意の人々に平和がありますように。

Laudamus te.  
Benedicimus te.  
Adoramus te.  
Glorificamus te.  
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.  
Domine Deus, Rex caelestis, Deus Pater omnipotens.

(私たちは)あなたをほめ称えます。  
(私たちは)あなたを祝福します。  
(私たちは)あなたを崇めます。  
(私たちは)あなたの栄光をたたえます。  
(私たちは)あなたの大きな栄光のゆえに感謝します。  
神であられる主よ、天の王よ、全能の御父であられる神様。

Domine Fili unigenite Jesu Christe.

御ひとり子であられる主よ、イエス・キリスト様。

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.

神にして、神の小羊、御父の御子であられる主よ。

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.

世の罪を取り除かれるお方よ、私たちに憐みの

Qui tollis peccata mundi,  
suscipe deprecationem nostram.  
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.

みこころを起こしてください。  
世の罪を取り除かれるお方よ、  
私たちの執り成しをお引き承けください。  
御父の右に座されるお方よ、私たちに憐みの  
こころをお起こしてください。

Quoniam tu solus sanctus,  
tu solus Dominus,  
tu solus Altissimus, Jesu Christe.

あなただけが聖なるお方、  
あなただけが主、  
あなただけが至高のお方ですから、イエス・キリスト様。

Cum Sancto Spiritu, in gloria Dei Patris.

御父である神様の栄光のうちに居られる御聖霊  
とともに。

Amen.

アーメン(真実)。

### 3. Credo

[Credo in unum Deum,] (グレゴリオ聖歌)

Patrem omnipotentem,  
factorem caeli et terrae,  
visibilium omnium, et invisibilium.

Et in unum Dominum Jesum Christum,  
Filium Dei unigenitum.

Et ex Patre natum ante omnia saecula.

Deum de Deo, lumen de lumine,

Deum verum de Deo vero.

Genitum, non factum, consubstantialem Patri:

per quem omnia facta sunt.

Qui propter nos homines,  
et propter nostram salutem descendit de caelis.

Et incarnatus est de Spiritu Sancto

ex Maria Virgine:

Et homo factus est.

Crucifixus etiam pro nobis:

sub Pontio Pilato passus

et sepultus est.

Et resurrexit tertia die,

secundum Scripturas.

Et ascendit in caelum:

sedet ad dexteram Patris.

Et iterum venturus est cum gloria,

judicare vivos et mortuos:

cujus regni non erit finis.

Et in Spiritum Sanctum, Dominum,

et vivificantem:

qui ex Patre Filioque procedit.

Qui cum Patre et Filio simul adoratur,

et conglorificatur:

qui locutus est per Prophetas.

Et unam sanctam catholicam

et apostolicam Ecclesiam.

Confiteor unum baptisma in remissionem peccatorum.

Et exspecto resurrectionem mortuorum.

Et vitam venturi saeculi.

Amen.

### 4. Sanctus

Sanctus, Sanctus,

Sanctus Dominus Deus Sabaoth.

Pleni sunt caeli et terra gloria tua.

Hosanna in excelsis.

### 5. Benedictus

Benedictus qui venit in nomine Domini.

Hosanna in excelsis.

### 6. Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:

miserere nobis.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:

dona nobis pacem.

(註) 唯一の神様を信じます。

全能の御父を(信じます)。

天と地の創造者を(信じます)。

全ての見えるものと見えないものの創造者を(信じます)。

そして唯一の主イエス・キリストを、ひとり子としてお生まれになった神様の御子を(信じます)。

そして全ての世より先に御父からお生まれになった方を(信じます)。

神様から出た神であられる方を、光から出た光であられる方を、

まことの神様から出た真の神であられる方を(信じます)。

作られたのではなくお生まれになった方を、御父と一体であられる方を(信じます)。

その方を経て全てのものが造られました。

その方は私たち人類のために、そして私たちの救いのために天から降って来られました。

そして聖霊によって肉体の姿になられました、処女マリアから出て。

そして人と成られ、

私たちのために十字架にさえつけられたのです。すなわち、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを

受けられ、葬られたのです。そして三日目によみがえられました、

聖書に従って。

そして天に昇られました。

(右) 御父の右に坐しておられます。

そして栄光とともに再び来ようとしておられ、生きているものと死んでいるものとを裁かれる

のです。

その人の王権は止むことがないでしょう。

そして聖霊を、すなわち主を、

命を与えてくださる方を(信じます)。

それは御父から(信じて)御子にも現れています。

それは御父と御子といっしょに崇められ、

たたえられるのです。

そのことは預言者によって語られています。

そして唯一で聖なる公教の、

かつ使徒継承の教会を(信じます)。

(註) 罪の赦しのときの唯一の洗礼(バプティスマ)を承認します。

そして死んだ者が蘇り、来らんとする世で生きることを待ち望みます。

アーメン。

聖なるかな、聖なるかな、

聖なるかな、主である万軍の神は。

天と地はあなたの栄光で満ちています。

いと高き所にホサナ(讃歌)。

誉むべきかな、主の名によって来る者は。

いと高きところにホサナ。

世の罪を取り除かれる神の小羊よ、

私たちに憐みのところをお起こしてください。

世の罪を取り除かれる神の小羊よ、

私たちに平安をお与えください。

第2ステージ

Wolfgang Amadeus Mozart (1756.1.27-1791.12.5)

Inter natos mulierum KV.72(74f) ト長調 1771年6月頃作曲

Inter natos mulierum non surrexit major Joanne Baptista, qui viam Domino praeparavit in eremo. 女から生まれた者達のなかで 洗礼者ヨハネより偉大な者は現れなかったのだ、あの方は荒野で主に道を備えたのだから。

(non)又は(non, non) (non, non, non) [上記の歌詞に挿入される言葉] いや違う。

Ecce agnus Dei, qui tollit peccata mundi. それ見よ、神の小羊。あの方こそ世の罪を取り除かれるお方なのだ。

Alleluja. アレルヤ(ヤ-ヴェを歌い、誓め称えよ)。

新共同訳聖書マルコ1.7「ヨハネは……こう宣べ伝えた。「わたしよりも優れた方が、後から来られる。わたしは、かがんでその方の履物のひもを解く値打ちもない。」ヨハネ1.29-30「その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。『わたしの後から一人の人が来られる。その方はわたしにまさる、わたしよりも先におられたからである』とわたしは言ったのは、この方のことである。」

J. Michael Haydn

Ave, Maria MH382又は385(Graduale昇階唱 NGD No. ST388/KL11b:30) Charles H. Sherman 編集版

1784年11月26日完成

Ave, ave Maria. 幸せが有りますように、おめでとうマリアさま。

Ave Maria, gratia plena: Dominus tecum: benedicta tu in mulieribus, ようこそマリアさま、満ちあふれるその優しさ、主(キリスト)があなたとともにおられます。あなたは女達のなかで祝福されたお方。

Ave, ave Maria, Ave, gratia plena, 幸せが有りますように、おめでとうマリアさま。ようこそ、(なんとい)満ちあふれる優しさ。

Ave, ave Maria, Ave, benedicta, 幸せが有りますように、おめでとうマリアさま。ようこそ、祝福されたお方。

Ave Maria, (ave,) gratia plena: Dominus tecum: benedicta tu in mulieribus, Alleluja. ようこそマリアさま、満ちあふれるその優しさ、主(キリスト)があなたとともにおられます。あなたは女達のなかで祝福された御方、アレルヤ(主を誓め称えよ)。

新共同訳ルカ1:28「天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」」

Wolfgang Amadeus Mozart

Missa in C (Missa in honorem Sanctissimae Trinitatis きわめて聖なる三位一体の祝日のためのミサ) KV167 ハ長調 1773年6月5日初演

1. Kyrie

Kyrie eleison. 主よ、憐んでください。 Christe eleison. キリスト様、憐んでください。 Kyrie eleison. 主よ、憐んでください。

2. Gloria

[Gloria in excelsis Deo.] (グレゴリオ聖歌) Et in terra pax hominibus bonae voluntatis. 高いところでは神様に栄光がありますように。そして地上では善意の人々に平和がありますように。

Laudamus te. (私たちは)あなたをほめ称えます。 Benedicimus te. (私たちは)あなたを祝福します。 Adoramus te. (私たちは)あなたを崇めます。 Glorificamus te. (私たちは)あなたの栄光をたたえます。 Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam. (私たちは)あなたの大なる栄光のゆえに感謝します。 Domine Deus, Rex caelestis, Deus Pater omnipotens. 神であられる主よ、天の王よ、全能の御父であられる神様。

Domine Fili unigenite, Jesu Christe. 御ひとり子であられる主よ、イエス・キリスト様。

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris. 神にして、神の小羊、御父の御子であられる主よ。

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis. 世の罪を取り除かれるお方よ、私たちに憐みの

Qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram. ところをお起こしください。世の罪を取り除かれるお方よ、

Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis. 私たちの執り成しをお引き承げください。御父の右に座されるお方よ、私たちに憐みの

ところをお起こしください。

Quoniam tu solus Sanctus.  
Tu solus Dominus.  
Tu solus Altissimus, Jesu Christe.

Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris.

Amen.

### 3. Credo

[Credo in unum Deum,] (グレゴリオ聖歌)  
Patrem omnipotentem,  
factorem caeli et terrae,  
visibilium omnium, et invisibilium.

Et in unum Dominum Jesum Christum,  
Filius Dei unigenitum.

Et ex Patre natum ante omnia saecula.

Deum de Deo, lumen de lumine,

Deum verum de Deo vero.

Genitum, non factum, consubstantialem Patri:

per quem omnia facta sunt.  
Qui propter nos homines,  
et propter nostram salutem descendit de caelis.

Et incarnatus est de Spiritu Sancto  
ex Maria Virgine:

Et homo factus est.

Crucifixus etiam pro nobis:  
sub Pontio Pilato passus  
et sepultus est.

Et resurrexit tertia die,  
secundum Scripturas.

Et ascendit in caelum:  
sedet ad dexteram Patris.

Et iterum venturus est cum gloria,  
judicare vivos et mortuos:

cujus regni non erit finis.

Et in Spiritum Sanctum, Dominum,  
et vivificantem:

qui ex Patre Filioque procedit.

Qui cum Patre et Filio simul adoratur,  
et conglorificatur:

qui locutus est per Prophetas.

Et unam sanctam catholicam  
et apostolicam Ecclesiam.

Confiteor unum baptisma in remissionem peccatorum.

Et exspecto resurrectionem mortuorum.

Et vitam venturi saeculi.

Amen.

### 4. Sanctus

Sanctus, Sanctus, Sanctus,  
Sanctus Dominus Deus Sabaoth.

Pleni sunt caeli et terra gloria tua.  
Hosanna in excelsis.

### 5. Benedictus

Benedictus qui venit in nomine Domini.  
Hosanna in excelsis.

### 6. Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
miserere nobis.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:  
dona nobis pacem.

あなただけが聖なるお方ですから。

あなただけが主です。

あなただけが至高のお方です、イエス・キリス

ト様。  
御父である神様の栄光のうちに居られる御聖霊

とともに。

アーメン(黙)。)

(緘)唯一の神様を信じます。

全能の御父を(信ず)。)

天と地の創造者を(信ず)。

全ての見えるものと見えないものの創造者を(信

ず)。

そして唯一の主イエス・キリストを、  
ひとり子としてお生まれになった神様の御子を

(信ず)。

そして全ての世より先に御父からお生まれにな

った方を(信ず)。

神様から出た神であられる方を、光から出た光

であられる方を、

まことの神様から出た真の神であられる方を(信

ず)。

作られたのではなくお生まれになった方を、御父

と一体であられる方を(信ず)。

その方を経て全てのものが造られました。

その方は私たち人類のために、

そして私たちの救いのために天から降って来ら

れました。

そして聖霊によって肉体の姿になりました、

処女マリアから出て。

そして人と成られ、

私たちのために十字架にさえつけられたのです。

すなわち、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを

受けられ、葬られたのです。

そして三日目によみがえられました、

聖書に従って。

そして天に昇られました。

(今)御父の右に坐しておられます。

そして栄光とともに再び来ようとしておられ、

生きているものと死んでいるものとを裁かれる

のです。

その人の王権は止むことがないでしょう。

そして聖霊を、すなわち主を、

命を与えてくださる方を(信ず)。

それは御父から(信ず)御子にも現れています。

それは御父と御子といっしょに崇められ、

たたえられるのです。

そのことは預言者によって語られています。

そして唯一で聖なる公教の、

かつ使徒継承の教会を(信ず)。

(緘)罪の赦しのときの唯一の洗礼(バプテスマ)を承

認します。

そして死んだ者が蘇り、

来らんとする世で生きることを待ち望みます。

アーメン。

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、

聖なるかな、主である万軍の神は。

天と地はあなたの栄光で満ちています。

いと高き所にホサナ(讃の謙)。

誉むべきかな、主の名によって来る者は。

いと高き所にホサナ。

世の罪を取り除かれる神の小羊よ、

私たちに憐みのこころをお起こしください。

世の罪を取り除かれる神の小羊よ、

私たちに平安をお与えください。